

12月4日～10日は人権週間

人権が尊重される

社会をめざして

1948年12月10日の第3回国連総会で「世界人権宣言」が採択され今年55周年を迎えています。採択の日を記念して定められたのが「世界人権デー」です。また、日本でも12月4日から10日までを「人権週間」と定め、人権意識を高める活動が各地で行われます。すべての人が生まれながらにしてもっている「人権」を考える機会として、ぜひご参加ください。

世界人権宣言

1948年国連総会で採択されたもので、第1条では「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつその尊厳と権利について平等である」と述べています。この採択は、創設初期の国連にとって最も大きな業績とされています。

世界人権宣言は、全世界に強い影響力を及ぼし、国連をはじめとする国際組織の行動を支持し、さまざまな国際文書の作成に関しても、よりどころとされてきました。また、各

国の憲法、国内立法、裁判所の決定にも導入、引用されており、まさに「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」(前文)です。

人権が尊重される社会に

同和問題や在日外国人・障害者・女性・高齢者・子どもなどに対する差別の問題は今も根強く残っています。市では、これらの問題の解消のため、平成9年7月に「人権を大切にするまちづくりの推進に関する条例」を施行し、人権が尊重され、差別のない明るく住みよい地域社会の創造に努めています。

私たち一人ひとりが人権の問題を自分自身の問題として考え、日常生活の中でいかしていくことが求められています。

人権週間行事へご参加を

わが国では、国連の決議を受けて毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」としています。法務省と全国擁護委員連合会がタイアップし、関係機関や団体の協力を得て

広く国民に呼び掛け、人権意識の普及と高揚の活動を展開するほか、本市でも、次の行事などを開催します。

人権・市民安全のつどい

◎年末年始特別警戒発隊式 とき 12月2日(火)午前10時 ところ 豊島野公園 内容 女優・いしのようこさんが一日警察署長に

◎講演会 とき 同日午前10時45分 ところ 市民文化会館 テーマ 「差別のない社会を」心と心のふれあいづくり 講師 アナウンサー・桑原征平さん

街頭啓発

市人権擁護推進協議会、池田地区人権擁護委員会、企業の皆さんが、12月4日(木)午前10時から、池田・石橋両駅で人権週間の周知と人権意識を高めるため、街頭啓発を行います。

人権ポスター展

とき 12月16日(火)～26日(金)の午前9時～午後5時15分 ところ 市役所1階ロビー 内容 市内の幼稚園・小・中学校の子どもたちが描いたポスターを展示

人権カレンダーを

差し上げます

市と市教育委員会では、市内の

ご相談ください 人権に関すること

差別やいじめ・虐待をうけるなどで、人権が侵害されて困っている方は人権擁護委員にご相談ください。本市の人権擁護委員は次の皆さんです。なお、相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にどうぞ。

氏名	住所	電話番号
清基 英昭	綾羽1丁目4-10	751-2309
中田 敦子	畑1丁目19-5	752-5150
林 功	畑2丁目2-14-307	754-2112
森本 ミドリ	伏尾台1丁目15-15	752-4836
田邊 敦子	石橋2丁目14-11	761-7333
津田 信幸	神田4丁目7-1	753-8669

幼・小・中学生による人権ポスターや標語、詩でつづった2004年のカレンダーを作製しました。希望の方は、人権推進課へお越しください。

このコーナーに関するご意見・ご感想を、人権推進課(☎754・6232)までお寄せください。

西国街道（その1）

今月からは、西国街道を歩きます。西国街道は、古くから京と西日本を結ぶ主要道として位置づけられてきました。道の起点は京の羅城門辺りで、大山崎、高槻、西宮、須磨浦を経て山陽道へと接続します。別に「山崎通」とも呼ばれ、大坂を経由



せず京と西宮方面をつなぐ最短ルートとして重視されました。

中書家久公御上京日記

天正3年（1575）、薩摩国（現・鹿児島県）の島津家久が、西国街道を上って京方面へ旅をしたときの日記（『中書家久公御上京日記』、『神道体系』参詣記）が残されています。天正3年といえば、池田城が廃城になった翌年で、摂津国の大名に上り詰めた荒木村重が、伊丹城を改修して町屋全体を防御施設で囲む有岡城惣構えを整備していたころです。

また、茨木城には荒木村次（一説では中川清秀）、高槻城には高山右近が村重の家臣として配置されました。家久が摂津辺りを歩いたときの記述には、

左方昆陽池の池有り。亦行きき右方に有岡といへる城有り。本は伊丹といへる城也。亦左方に池田といへる城有り。今はわりて捨てられ候。（略）右方に茨木といへる城有り。それより芥川といへるを渡り、亦右方、高槻といへる城有り。

とあります。「わりて捨てられ」とは、城割り、すなわち城を破却して廃城にしたという意味で、池田城の廃城の手掛かりとなる重要な史料です。

左右に諸城を望む

さて、この日記によれば、当時、人々は左右に池田や伊丹などの諸城（城跡）を遠目に見ながら西国街道を歩いたことが分かります。興味深いのは、池田・伊丹の城やそれに付随した町屋が、ともに主要街道である西国街道に沿っているのではなく、西国街道から枝分かれした街道沿いにあるということです。これは、池田や伊丹だけではなく、高槻や茨木の城や町屋も同様です。

守護城下町や寺内町など領主や神社勢力のもとで成立した町とは別に、室町・戦国時代以降、多くの町屋が人が集まる街道沿いに「市」が立ち始めたことに求められることから、西国街道は自由に市を立てることができない「公的」な街道だったのでないかと思われます。しかも、在地領主の館である城は町屋に付随するように築かれたため、おのずと西国街道から遠ざかることになりました。現在、旧西国街道に該当する道路が市街地の中心部から離れた場所を通過しているのは、室町、戦国時代の城や町屋が街道から離れた場所に造られたことが一因になっていると思われま

問い合わせは社会教育課（☎754・6269）

みゅうじあむ・がいど

館名	展示名（期間）／みどころほか	開館時間／休館日／料金	地図
市立歴史民俗資料館 ☎751-3019	●全開展「池田とてゐる家紋」 12/12(初)～1/14(日) ☆ミュージアムミニトーク「古文書の世界No.8」 (12/23(日)14:00、聴講無料)	●9:00～17:00 ●月・火曜日、祝日、12/3(祝)～11日、12/24(祝)、12/28(祝)～1/4(日) ●無料	
財団法人池田美術館 ☎751-3865	●秋季展「没後230年 藤村」 ー12/7(日) ●早春展「早春と景文」 1/19(土)～3/7(日)	●10:00～17:00（入館は16:30まで） ●月曜日、12/5(日)～1/9(日) ●一般700円、学生500円、中学生以下200円	
財団法人池田文庫 ☎751-3185	●秋季会内展「真念地獄マナーの歴史ー池田文庫蔵書本『土』よりー」 ー12/7(日)	●9:30～17:00（入館は16:30まで） ●月曜日、第1水曜日、12/27(土)～1/3(日) ●図書部は無料（展示入館は200円）	